

もっと「未来のブカツ」を考える

スクール・コミュニティ クラブ 「ひらの倶楽部」構想

大阪教育大学附属高等学校平野校舎
スクール・コミュニティクラブ ひらの倶楽部
会長 松田 雅彦

はじめの問題意識

Common Agenda

学校を卒業した瞬間にスポーツを楽しむための機会がなくなる
なぜなら施設・用具・仲間・指導者・プログラム・情報のほとんどがなくなる



学校と地域の垣根がなくなれば解決できるのでは？
しかし、なかなか学校は開かれない



学校を卒業しても部活を卒業しなくてもいいようにすればいい
学校の中に地域クラブをつくろう！

はじめにめざしたくみ

学校を卒業しても部活動は卒業しなくても良いくみ

☆ 学校を卒業しても部活動は卒業しなくていいくみをつくろう

⇒ そのためには学校と卒業生や地域をつなぐ組織が必要

⇒ 「ひらの倶楽部(Hirano Club)」づくりへ！

学校を卒業すると「仲間」「施設」「指導者」「用具」「プログラム」「情報」などをなくしてしまう

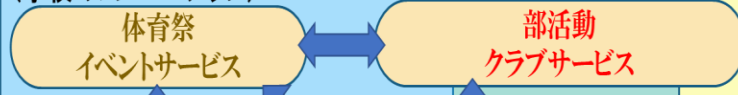


文化(スポーツ・音楽・芸術・学習)から遠ざかる

生涯スポーツ・生涯学習社会が実現できない

(スポーツ推進委員、スポーツ少年団
体育・スポーツ協会・レク協会等の連携)

中・高等学校
(学校のメンバーシップ)



体育からの学習転移

Hirano Club
総合型地域スポーツクラブ

卒業後

中学校

小学校

幼稚園



卒業生との継続的關係づくり

～ 部活動を塾化させないしくみ ～

Mutually Reinforcing Activities

場所と機会の提供

OB・OG会 (クラブ会員)

現役生もOB・OGも
保護者も地域住民も
みんな楽しい!

学校

体育授業

生徒会組織 (自律・自治活動)

- ・施設調整
- ・イベント
体育祭・文化祭
球技大会
- ・情報提供
- ・予算配分

部活動

文化的活動

スポーツ

吹奏楽
美術
生物

バレーチーム
ハンドチーム
バスケチーム

施設

教師

人的・経済的支援

部活動の地域移行
(外圧)により、一気に
話が進んだ!

中学校

(シーズン制スポーツバブルシュレ)

小学校

(遊び教室:高校生主権)

幼稚園

(ヨガ教室&サロン)

P T A
後 援 会

(利用者から会員へ)

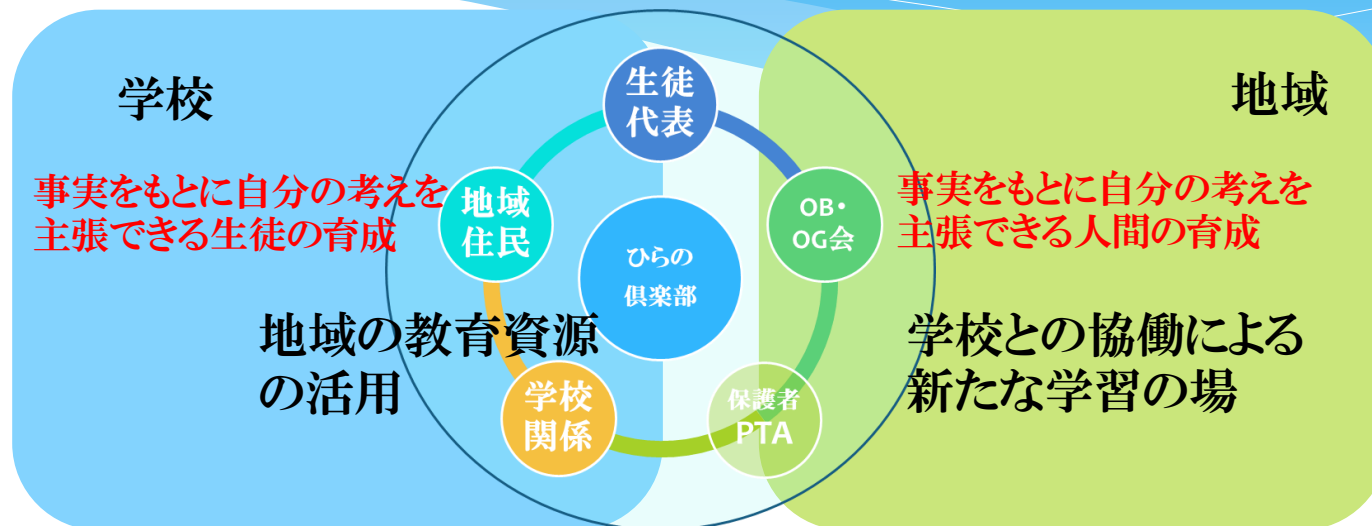
地域住民

(利用者から会員へ)

学校を地域へ広げる中間組織としてのクラブ

学校×クラブ×地域

Backbone Organization & Continuous Communication



自分でしっかりと考える事ができる人を育てる
ふわっとした情報に惑わされない人を育てる
他者とチームを組むことができる人を育てる

- * 文化(スポーツ・芸術・音楽・学問)縁でつながる緩やかなコミュニティの生成
- * カリキュラムの縛りや人材不足などの問題をクラブで突破する
- * 子どもと大人で地域課題や社会問題の解決に挑む
- * これまで学校ではやりにくかったことを地域クラブ組織で実現する
- * 生徒にやりきる責任感を持たせ、何度もやり直すチャンスをあたえる

学校と地域の関係性

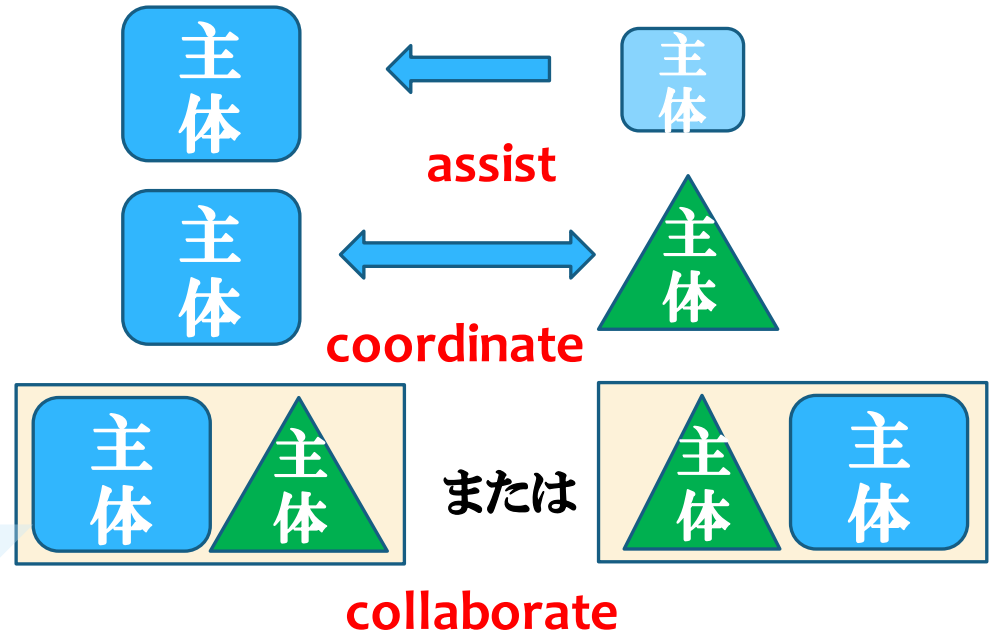
めざすゴールと3つのステージ

第1段階 補助 (assist)
→ 足りないことを補助する

第2段階 連携 (coordinate)
→ それぞれが協力する

第3段階 協働 (collaborate)
→ 同じ目的を共有して
ともに働く

1 補助
2 連携
3 協働



連携と協働の間には大きな隔りがある